

発行所  
新左翼社  
大阪市大淀区本庄川崎町  
2-10 トミヤビル  
電話(371)5304  
振替口座 大阪 88555  
昭和43年12月12日  
第三種郵便物認可

1969年  
4月15日  
第26号  
月3回5、15、25日発行  
1部 15円  
1カ月50円 半年300円  
1カ年600円定共

# 新左翼

## 記事紹介

二面  
4・28から70年  
へ——社学同・  
中核派両全学連  
にきく  
日常侵略の地な  
らし——出入国  
管理法案  
三面  
京大で入学式つ  
ぶし、新入生と  
討論会  
十四日から反大  
学開校  
四画  
インド農民の武  
装闘争

## 視点

六九春闘が「買上げ」をばらばらに押しつけている。これは労働者の政治的意識を高め、階級的自覚を高め、階級的闘争を高め、階級的闘争を高め、階級的闘争を高めることである。これは労働者の政治的意識を高め、階級的自覚を高め、階級的闘争を高め、階級的闘争を高めることである。これは労働者の政治的意識を高め、階級的自覚を高め、階級的闘争を高め、階級的闘争を高めることである。

## 職場に政治的中核を

### 69春闘で70年闘争部隊築け

職場に政治的中核を築くことは、労働者の階級意識を高め、階級的闘争を推進する上で極めて重要な課題である。69春闘を通じて、労働者の政治的自覚が著しく向上したことは、この点から見て明らかである。しかし、この向上が単なる自覚の向上にとどまらず、具体的な政治的行動へと発展させることが、今後の労働運動の鍵となる。職場に政治的中核を築くことは、労働者の階級意識を高め、階級的闘争を推進する上で極めて重要な課題である。

## 春闘・合理化・70年

### 全電通青年活動家は語る

全電通青年活動家は語る。春闘は重要な闘争に突入している。この闘争を通じて、労働者の政治的自覚を高め、階級的闘争を推進する必要がある。合理化の推進は、労働者の利益を侵害するものである。70年闘争に向けて、労働者は団結し、階級的闘争を推進する必要がある。

## 文化大革命を総括

### 中国共産党九全大会開く

中国共産党九全大会が開かれ、文化大革命の総括が行われた。大会では、文化大革命の経緯と意義が論じられ、今後の政治的方針が示された。労働運動の発展と労働者の政治的自覚の向上が強調された。文化大革命は、中国共産党の政治的変革を促進する上で重要な役割を果たした。



四月一日から北京でひらかれた中国共産党九全大会のもよう

中国共産党九全大会の概要。四月一日から北京でひらかれた。大会では、文化大革命の経緯と意義が論じられ、今後の政治的方針が示された。労働運動の発展と労働者の政治的自覚の向上が強調された。

文化大革命を総括。中国共産党九全大会開く。労働運動の発展と労働者の政治的自覚の向上が強調された。文化大革命は、中国共産党の政治的変革を促進する上で重要な役割を果たした。





# 武装するインド農民

## 土地分配を農民の手で

— 西ベンガル北部 —

インドの週刊誌「デジャブラチイ(愛国者)」と月刊誌「リベレーション(解放)」は最近、インド西ベンガル州北部のダージリン県シリグリー地区ナクサルバリなどで、一九六七年三月、四月に盛り上がりを見せた農民武装闘争の経緯・教訓を、マルクス・レーニン主義、毛沢東思想を適用して総括した報告を掲載した。報告は、インドのこのような国では、農民を必ず武装して、人民の武装力をつくりださなくてはならないと指摘している。報告はまた、インド修正主義分子がインド反動派の共犯者となつて、農民の革命武装闘争を弾圧していることを激しく非難している。報告はあつた次のように述べている。

ない。ヒマヤ山麓の丘陵地帯の農民はわが国の農民の一部であり、これら英雄的な農民は置かれてた封建分子である地主と高利貸しに搾取されてた打撃を受けている。買弁官僚ブルジョア階級・地主の国家機構は暴力でもって封建制度を維持し守り、武力支配を行なっている。「鉄血から政権が生まれる」という毛澤東の教えに励まれて、英雄的な農民は武装した暴力でもってこうした武力支配に反対している。

ヒマヤ山麓の丘陵地帯の農民は、封建主義に力強い打撃を与えなければならぬ。かれらはまた階級主義と結びつた米商ブルジョアがインドを搾取していることに強い憤りを感じて、農民の代表である地主が農民に打ちつけた政治、経済、社会の面の権威、専横や威信をゴキタムに掃き、武装した暴動を通じて農村に農民委員会の支配を樹立した。このことをナクサルバリの闘争がインドの被抑圧階級解放の道を示したゆえである。

この英雄的な農民の闘争は、農民がインドの民主主義革命の中ですべての反動派と修正主義者の必死の反抗に打ち勝つために、発端した役割を強く示している。

シリグリー地区でかつて一度農民大会が開かれたのは次のように述べた。(一) 農村のすべてのところから農民委員会の組織をもちだす。(二) 地主と農村における反動派の反抗を粉砕するため組織し、武装しよう。(三) 土地所有権にたいする地主の独占を粉砕し、農民委員会の手で土地を再分配しよう。大会はさらに農村の反封建闘争は必ずあらゆる反動派の弾圧をくつろぐ、ニューデリーのインディア・ガングー政府がそうであり、西ベンガルの連合政府もそうである、したがって、武装した力と持久の闘争をもって、かれらのあらゆる弾圧にこたえなければならぬと宣言した。

一九六七年三月末から四月末までの間に、ほとんどの村が組織された。以前、農民協会の人数は五千を越えることはなかったが、そのころには約四万人に激増した。二万五千から二万の農民が専門の活動に従事しはじめ、村に農民革命委員会を作った。これまで農村の青年が農民協会の責任ある活動になつたことにはまことに見られなかったが、そのころ、かれらは古い資格を持った農民幹部の地位を占めた。一月半ばかりの間に革命的農民は嵐のようになつて、数回同様のグループ会議のうえ、農民委員会を作るとともに、この委員会を村の

農民の革命的活動は農民全体が民族、宗教、言語、カーストの違いを越えて団結した。かれらはおもに、数百年にわたつて農村に存在していた封建制度を一掃する、つぎのような十大任務をまとうた。

- 一、農民の所有に属する、農民が耕してもいない土地を、農民委員会の手で再分配すること宣言する。
- 二、大会を開き、土地に関するすべての法律、文書などを焼き払う。
- 三、地主と金貸しが農民に無理やり結ばせた土地の牛などを差押える協定の一掃無効と、利息の一律免除を宣言する。
- 四、地主がたくわえていた米その他の物品を

八、夜番をたて、窃盗犯、強盗犯の厳罰処分を宣言し、学校管理の責任を負う。

- 九、どの地区にも革命委員会を設け、農民の政権を樹立する。
- 十、ブルジョア階級の法律、法廷が農村のなかでは一律に効力を失ふ。革命委員会の決定が法律であることを宣言する。

今度の闘争の指導は当然のことながら土地を保持しない農民の手に握られていた。かれらは農民の手中でもっとも戦闘性にあふれた部分である。こうした革命行動の影響がこんなにも深くこんなにも広く及んだこの原爆は、闘争の指導が農民の手に握られていた土地なき農民の手に握られていたことである。

いわれる左派党はこれら国民会議派とともにヒマヤ山麓の丘陵地帯の英雄的な農民の闘争を激しいものに中絶した。だがかれらのこのような中絶も、ヒマヤ山麓の丘陵地帯の農民が封建主義を徹底的にくつがえしたというこの事実をおおいかすことにはできない。これはこの数百年來いかなる立法あるいはいかなる手段を使つても達成できなかった偉大な功績である。

この闘争は土地を奪取する闘争であつただけでなく、政権を奪取する闘争でもあつた。「革命の中心任務と最高形態は、武力による政治権力の奪取であり、戦争による問題の解決である。このマルクス・レーニン主義の革命原則は普遍的に正しく、中国においても外国においても一律に正しい。」毛澤東がこれについて述べている。買弁官僚ブルジョア階級と地主の政権をくつがえすには、農民を武装し、遊撃隊と正規部隊を樹立するほかに、ヒマヤ山麓の丘陵地帯の農民は、このことのような活動を行なつたのである。

「マルクス主義者」のふりをしたいわゆる「共産党員」は反封建闘争を土地分配の問題に局限し、彼らは武装した農民をみると、かきわけてしまつた。

四、夜番をたて、窃盗犯、強盗犯の厳罰処分を宣言し、学校管理の責任を負う。



飢饉に苦しむインドの婦人と子供たち

農民の闘争はただ単に土地を奪取する闘争ではない。農村における地主の土地所有権の独占と地主の封建的搾取は、買弁官僚ブルジョア階級と地主の政党内閣が地主に委任する政治、経済、社会、文化の仕組みを使って保護しており、地主の土地所有権の独占と地主の封建的搾取を終わらせるには、新しい政権を樹立し、そこから新しい政治、経済、社会文化の仕組みを作りあげなければならない。このような新しい政権を樹立するには、農民を組織し、農民を武装し、遊撃隊をつくり、解放区をきり開き、正規部隊をつくることによるこの正規部隊を維持し発展させるほかに、このような政権はどんなに小さな地区に樹立されたものであつても、未来のインドの人民民主主義のひたむきな闘争に必要である。

て、ヒマヤ山麓の丘陵地帯の英雄的な農民の闘争の一つの重要な面は、それが茶園労働者その他の労働者による人民の支持を得たこととに反封建闘争の中で統一戦線が結成され、そのため闘争が、より強められたことである。これはもともと重要な任務である。闘争をすすべての反封建闘争の統一戦線は、武装闘争を行なう労働同盟を基礎にしてはじめて結成されるものである。

ヒマヤ山麓の丘陵地帯の英雄的な農民の闘争をおし進める面では、たとえ一時的な失敗であるにせよ、われわれはなげき失ったのか。その原因は、強力な党組織を持たず、誠心誠意大衆に接近し、厚い大衆の基礎を打ち立てることができず、軍事問題を慎重し、古いワケにもとつて問題を考え、政権の樹立と革命的な土地改革の活動の面で形式主義の態度をとつたことである。われわれは毛澤東がこれらの問題について述べた教訓をいつまでも追記しておかなければならない。毛澤東は「新たに生まれたような新事物の成長も、すべて困難と曲折を経なければならない。社会主義事業のなかで、困難と曲折を経ず、大きな努力を払わず、いつも順風に乗つて、たやすく成功をおさめられると思つたら、そうした考え方は幻想にすぎない」とわれわれに教訓している。いわゆる強力な党組織がないといふことは、マルクス・レーニン主義と現代のマルクス・レーニン主義の最高峰である毛沢東思想の理論で武装し、大衆と密接に結びついた、勇敢に自己批判し、マルクス・レーニン主義の工作法を身につけた党がないといふことである。

われわれがまた闘争をいっそう高い段階へと進めたいとすすめることができないのはわれわれが完全に人民に接近せず、偉大な大衆的基礎をつくらなかつたからである。英雄的な農民大衆が主動的精神を養つて、何かを行なつたとすると、われわれのようなブルジョア階級出身のものにはかれらに反対する。その原因は、われわれが大衆の行動を連解しようとなつたばかりか、逆に、われわれは修正主義の古い習慣の影響を受けて横断にみかたの行動を制限させたいことにある。このことは大衆の主動的精神をくじかせ、階級闘争の鋭気を弱めさせた。われわれはすでに、われわれの闘争の第一段階において、人民の必要と願望とを必ず結びつけ、限らない愛護と尊敬の念を抱いて人民の中に入り、人民と二九にならなければならぬことを決意している。

毛澤東は、「すべての反動派はハリコの虎である。反動派は、見たところ、おそろしうても、実際には、なにもたいした力ももっていない。なかに目で見れば、ほんとうに強大な力をもっているのは、反動派ではなくて人民である」とわれわれに教訓している。いかなる闘争に

おいても、もしわれわれが政治面で敵の力を過大評価するならば、闘争の勝利をおさめることはできない。言いかえれば、もしわれわれが戦略的な観点から敵を打ち破るのに必要な勇気と堅固さなければ、必ず失敗するであろう。

われわれがヒマヤ山麓の丘陵地帯の農民の闘争から学び得たものは、われわれが毛澤東の政治と軍事理論を深くついでて学び、そして労働者同盟の同志が毛澤東の思想を学ぶよう立派に按配することがわれわれの最大の責務であるといふことである。

このほか、われわれは自己の闘争の経験から農村の人民が自衛的、武装した後でできた武装グループが、農村自衛グループになることを学びとつた。

われわれは階級闘争の闘争に必ず法的的武器(言、長ホコなど)で農民を武装・組織して遊撃隊の知識を学ばなければならない。遊撃隊の知識を学ばなければならない。われわれは農民遊撃グループを組織して、遊撃グループの活動を広げて次第に解放区を打ち立てて行かなければならない。もしわれわれが同時に進めず解放区を打ち立ててゆかなければ、遊撃グループの活動を進めることも不可能になる。われわれは人民の武装力をつたつてこのことに重きを置かなければならぬ。人民の武装力をつたつたために、われわれは武装遊撃隊の中核組織を結成しなければならぬ。われわれはこれらの組織が人民武装力の萌芽になるとみなしている。

このほか、その他のいくつかの地区において、われわれは方法を講じて武装した農民暴動を組織して、暴動によって武装した農民からなる人民武装力をつたつたことが出来る。(中国通信)

### ◆ 封建制度一掃のため 十大任務をまとう

沖繩闘争勝利・全国 学園闘争勝利

### 福岡労学連帯集会

講演 京大教授 井上 清氏  
報告 東大全学共闘会議代表  
とき 四月二十一日午後五時  
ところ 福岡市民会館ホール  
主催 安保紛争九州共闘戦線

講演 「安保は危い」  
講師 熊本南大講師 田島司郎先生  
とき 四月十九日午後一時半より  
ところ 佐世保市松浦町 産業会館ホール  
主催 十九日市民の会